

東予地区人権・同和教育研究協議会開く

愛媛県教育委員会等が主催する標記の会が11月8日新居浜市で開かれた。この会の学校教育部会ではみなと保育園、宮西小学校、西中学校、東高等学校で授業が公開され、そのあと各会場で研究協議が行われた。また社会教育部会は総合福祉センターが会場となり、2つの分散会で、それぞれ3人が実践報告をした。A分散会では当館の高津章人館長が「南沢笑子さんを『偲ぶ会』から『つなぐ会』へ」と題して報告。笑子さんは1960（昭和35）年に長野県から新居浜の男性に嫁いできたが、男性の家族は身元調査を行い彼女が被差別部落出身であることを知る。そして、その家族から過酷な差別を受けた彼女は長野の両親にあてた手紙を残して新婚生活5か月で自らの命を絶った。

2009（平成21）年の命日にあたる12月22日に瀬戸会館で50回忌の法要を含む二部形式で笑子さんを「偲ぶ会」を実施したが、手紙に残された「差別のない社会を作ってほしい」という笑子さんの心からの願いにどうこたえていくのか。

それが5章25条からなる会則をもつ「南沢笑子さんの想いをつなぐ会」の結成となり、学校現場では「娘からの手紙～遺書が私たちに問いかけるもの～」という市内中学校の人権・同和教育の共通教材になって授業実践されている。



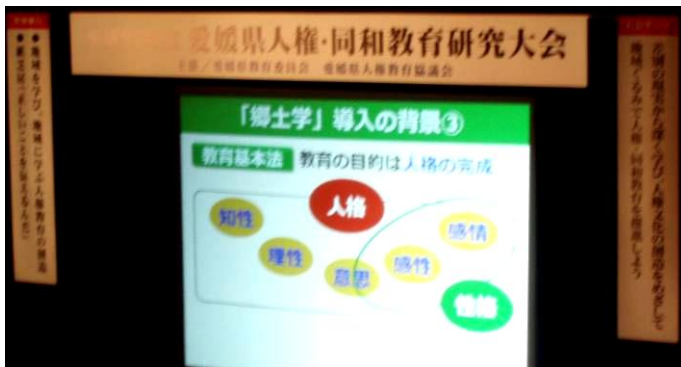
瀬戸会館だより
平成25年12月号
新居浜市瀬戸会館
〒792-0821
新居浜市瀬戸町7-30
E-mail
seto@city.niijima.
ehime.jp
TEL 0897
41-5859
(FAX 兼用)

愛媛県人権・同和教育研究大会開く

標記の会は、11月13日松山市のひめぎんホールを主会場に開かれた。その目的は「互いに人間の尊厳や権利を尊び、差別や偏見のない地域社会を実現するた…県民一人一人の人権意識の高揚に努める」としている。全体会では宇和島市の藤原真澄さんらの人権・同和教育推進功労者知事表彰があり、特別報告として鬼北町立日吉中学校の「郷土学」の創造をめぐる実践報告と伊予市「ほほえみの会」による自作紙芝居「正しいことを伝えるんだ」への取り組みが発表された。

分科会には「人権教育の創造」「自主活動・進路保障」「社会教育」の3つがあり、社会教育A分散会では4つの実践報告があり、松野町の毛利伸彦さんから「和太鼓の活動を通して～あなたはあなたのままで素晴らしい！～」、NPO 法人えひめ311の澤上幸子さんから「震災と人権」というテーマで報告があった。2年前の東日本大震災、原発事故のため福島県から愛媛へ避難してきた澤上さんは、公園で「放射能、放射能！」と叫ばれた人の例をあげ、「無知であるが故の根拠のない発言などで、どれだけ人を傷つけるか」と述べたが、これこそまさに部落差別と共通する課題であろう。

西条市の青木浩子さんは「であい・ふれあい・学びあい」のテーマでハンセン病問題を取りあげ、大島青松園にいる西条市出身で、小学校を除籍処分になっていた磯野さん、本田さんに80歳の卒業証書授与式を実現させるまでのようすなどを語った。また久万高原町の小野敏信さんは「学習資料『花咲く日』を使って」のテーマで、人権啓発の手法として小集団学習会「こたつ懇談会」を紹介し、町をあげての実践がよくわかった。



12月公演 回転木馬 おはなし会

12月4日予定
10:00~11:00
瀬戸児童館

きてみんかい 来観会

12月は
19日(木)
19:30~

12月の主な行 事予定

11・25日(水)
— 移動図書館
11日(水) —
人権のつどい日
演題「人権擁護委員に関すること」
講師 西条人権擁護委員協議会副会長
坂上 禎規さん

12月8日(日)一年末大掃除(9:00~12:00)皆さんのご参加お願いいたします。

なお、簡単なお昼を用意しています。



今年も一年、瀬戸会館における活動等にご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。なお年末年始は12月28日~1月5日まで休館です。よろしくお祈りいたします。

人権あらかると

阪大生の部落訪問記(3)

角岡伸彦 (ノンフィクションライター)

答案用の訪問かもしれないが、なによりも、ひとりで部落を訪ねる行動力がいい。いくら授業でいろいろな知識を与えても、やはり情報でしかない。結局自分の目で確かめるのが一番である。アメリカがどんな国であるかを知るために、いくら書物や資料を読んだり、テレビや映画を見たり、はたまた在日のアメリカ人に会っても、限界がある。やはりアメリカに行って、自分の目で確かめるに越したことはない。部落問題に関して、全く同じことが言える。

母親の妙な軽さも、気さくな部落の人もいい。私は実際に部落を訪れてみた結果、部落に悪印象を持ったとしても、それはそれで仕方がないと思っている。この学生が行った部落のように、突然の訪問に気さくに応じてくれる部落ばかりではないだろう。しかし、自分の目で確かめてみもしないであれこれ言うのは、食べてもいない料理を論評するようなものである。実際に足を向け、自分の目で確かめ、耳を傾けることによって、部落の良い面も悪い面も見えてくる。

結局のところ私が授業で伝えたかったことは、部落問題を通して日本社会を見ると同時に、自分の目であらゆる世界を確かめてほしいということだった。

「人権のつどい日」にひろう



11月11日は「心の声にきづいて」と題する尾崎洋子さんの講演を聴いた。尾崎さんは子育てをしながら36年間保育園に勤められ、それらの経験から現在新居浜市の児童福祉課で子育て支援、児童虐待の未然防止などに努められている。

虐待の実態として、子どもに食事を与えない、家に閉じ込めるなどのネグレクトが一番多く、次いで無視、大声で脅すなどの心理的虐待、そしてなぐる、ける、タバコの火でやけどをさせるなどの身体的虐待の順だという。加害者は実母が7割を超え、残りが実父。被害者の65%が0歳児から未就学前の子どもたち。

尾崎さんは、地域の皆さんにちょっとした子どもの変化、お母さんからのサインに気づいてほしいと願う。「いつも泣き声や叫び声が聞こえる」「子どもが原因不明のけがをしている」「子どものけがに不自然な説明をする親」など。11月はく児童虐待防止推進月間>でした。市政だよりも『さしのべた その手がこどもの命綱』と訴えています。



「差別をなくする県民のつどい」開催

標記の会が11月20日(水)松山市のひめぎんホールで開かれ、講演のほかアトラクションとしてドキュメンタリー「ひまわり」の上映と「心に橋をかける」のテーマでトークセッションもあった。

講演は当初テレビプロデューサー・作家の栗原美和子さんの予定であったが、仕事の都合上困難が生じたとかで、夫で猿まわし芸人の村崎太郎さんに変更された。テーマは「差別のない社会を目指して」と同じだが、サブタイトルが「被差別部落に生まれ育った私にできること」になっていた。村崎さんの講演は、ユーモアを交えながらも厳しい差別の現実が次々と展開される。小学校へ通っていたころから「なぜ差別されているのか」、そして「これからもずっと差別されるのか」と思っていたという。そして猿まわしとして有名になればなるほど、地元の人からは「少なからず迷惑なんだ。あんたが有名になればなるほど、ここが差別されることが続くんよ」と言われる。ネットでは、殺人者の目をしていると書かれていたりもする。でも、厳しい差別の中を生き抜いてこられたお父さんが、村崎さんに語ったことば「生きとし生けるものを、いとおしく思うようになった」は、私たちを大いに感動させた。

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ピンポン リトミック	3 パソコン初期講習 リトミック	4 パソコン スクエアダンス 押花「四季彩」 学習会(数学)	5 ウォーク2005 社友会 リトミック 紙バンド教室(昼・夜) トールペイント 囲碁 レインボー体操教室 学習会(英語)	6 パソコン初期講習 健康体操教室 ピンポン リトミック	7 中学生パソコン 教室
8	9 ピンポン リトミック	10 パソコン初期講習	11 人権のつどい日 パソコン スクエアダンス 学習会(数学) 少林寺拳法 詩吟	12 紙バンド教室(昼・夜) 囲碁 レインボー体操教室 学習会(英語)	13 パソコン初期講習 健康体操教室 リトミック 手芸教室「照」	14 てんこく教室 リトミック スクエアダンス
15	16 ピンポン リトミック トールペイント	17 パソコン初期講習	18 パソコン スクエアダンス 詩吟	19 社友会 リトミック 紙バンド教室(昼・夜) 囲碁 レインボー体操教室 学習会(英語)	20 健康体操教室 ピンポン リトミック	21 中学生パソコン 教室 スクエアダンス
22	23	24	25	26	27 健康体操教室 ピンポン 手芸教室「照」	28 てんこく教室
29	30	31				
年末	年末	年末				

12月各教室予定一覧表
11月25日現在